

校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校
第21号
文責 校長 熊本 寿美
令和3年7月20日(火)

伸びる芽を育てる環境。「根を養えば、..」

本年度もコロナ禍での教育活動となり、緊急事態宣言、まん延防止等の措置を受けながらも、工夫したり調整したりしながら、授業はもちろん、体育会等の学校行事も実施することができました。新しい生活様式が習慣化し、どんな状況でも「今」できることに感謝と懸命さをもって取り組む南中生の良さや頑張りが発揮され、着実な成長の姿を見せてくれた1学期でした。元気に学校に通う生徒たちの笑顔を見るたびに、日々の家庭や地域の皆さまの温かな励ましや見守りが、子どもたちを支える最大の力となっていると感じています。ご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

本日の終業式では、東井義雄さんの言葉を紹介しました。「根を養えば、木はおのずから育つ。」生徒会のひまわり花壇のひまわりが太陽に向かって花を咲かせ始めました。ゆうあい学級のゆうあい畑の野菜が実をつけてぐんぐん大きくなっています。水やりや草取りを日々続けてくれたおかげです。大切に育てようとする気持ちと行動、繰り返しの積み重ねが、根っこに栄養を与えています。栄養は、根っこを包む土から吸収しています。根を養うとは、根が育つ土を作ることです。土とは、環境です。自己実現に向けて根を養い、自分を実らせていくためには、互いの良さや頑張りに気づき、認め合い、高め合う関係性が大切です。学級、学年、南中の環境が自分を実らせていきます。南中の校風には、共に伸びていく環境が根付いてきたと感じています。それは、素直な向上心と互いを思い合う温かな心をもった南中生たちの努力のおかげです。「根」基礎が大事。あいさつも黙働掃除も、時間を守ることも、人間力の基礎を作っていきます。「土」進化が大事。身に付けた基礎力を高めるための進化する環境を作る。そこには、目標と本気さが必要です。自己実現、「なりたい自分」を求めて新たな行動を。

根を養えば
木はおのずから育つ
見えないところで
見られることを期待せず
ひたすらはたらく根
それに支えられ養われて
天にそびえる大樹あり
花が花咲き
実が実を結ぶ



主体的な行動力を発揮！ 生徒会ボランティア活動



南中のために行動。やり終えた笑顔に貢献意識の高さを感じます。「人の役に立ちたい」南中生の割合92.1%。(生徒自己評価数値)

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり